

天文学とプラネタリウム

第67回



今月のお題

140文字でつながる・広がる宇宙



140文字で情報を発信できるtwitter。いろんな情報を仕入れたり、新しい星空の楽しみ方も開拓したりできるかも。



www.tenpla.net

高梨直紘 (東京大学)
平松正顕 (台湾 国立清華大学)

皆さんはtwitter (ツイッター) というウェブサービスをご存知でしょうか? 「ミニブログ」などと呼ばれることもあります。140文字以内で情報を発信したり日常のよしなごとをつぶやいたりすることができるサービスです。自分のアカウントを取得し他の人の「つぶやき」を見るよう登録 (フォロー) すると、自分のページでフォローした人たちが発信する情報を見ることができるようになります。写真を添付することもでき、パソコンでも携帯電話でも利用できるこのサービス、オバマ大統領が選挙戦で使ったり、テレビ番組で取り上げられたりしたこともあって最近急激に利用者数を伸ばしているようです。

科学・天文関連でも、すでに様々なところで利用されています。NASAはハッブル宇宙望遠鏡や各惑星探査プロジェクトごとに情報発信をしていますし、スペースシャトルや国際宇宙ステーションのクルーが近況報告をしていたりもします。日本では高エネルギー加速器研究機構 (KEK) などがニュースの配信などを行っています。日本語でも天文情報や宇宙開発に関するニュース

を配信している方がいらっしゃいます。国立天文台などでの採用も期待されますね。

このtwitterの特徴は、単に公的機関・報道機関や著名人の発信する情報を受け取るだけではなく、こちらからも情報を発信することができる、ということです。ノーベル化学賞が発表された直後には、関連分野を研究する大学院生がリアルタイムに質問を受けながら解説を行っていましたし、twitter上での対談という形で講演会的な企画もなされていました。また情報発信と言うとなんだか大げさに聞こえますが、たとえば夕方夜空を見上げて「木星がきれいに見えてるなあ」とtwitterでつぶやいてみるのもいいでしょう。天文現象の起きる夜には、感想とともに簡単な実況中継をしてみるのもいいのではないのでしょうか。身近な人たちに夜空に関心を持ってもらうこともできるかもしれませんし、食現象や流星群など場所によって少しずつ見える時間や現象が異なる場合には、色々な場所からの実況を見ながら観察すれば地球の大きさを感じられたりして、これまでとは違った天文現象の楽しみ方を生み出せるかもしれません。



つくばエキスポセンターで行われたイベントにて。高梨 & 平松の同窓生である羽馬有紗さんの著書「エレンの宇宙」を題材としたプラネタリウム番組が公開されたのを記念して行われました。会場に貼られた巨大な宇宙図が人目を引きました。(高梨)

● 天ブラ twitter アカウント
<http://twitter.com/tenpla>

天ブラでもtwitterにアカウントを作って、天ブラが関連するイベントなどのお知らせを流していますので、興味がおありの方は是非フォローしてみてください。